

保健体育科学習指導案

指導教官
実習者氏名

- 1、日時 2022年
- 2、場所 中学校 2年2組教室
- 3、学年・組 中学2年2、5組(男子15名、女子16名)
- 4、単元名 健康な生活と疾病の予防②「喫煙の害と健康」

5、単元目標

(1)知識・理解

喫煙が心身ともに様々な影響を与え、健康を損なう原因となることを正しく理解することができる。

(2)関心・意欲・態度

喫煙と健康の関係について関心を高め、課題解決に向けて進んで仲間と協力しながら意欲的に学習することができる。

(3)思考・判断

喫煙は、個人の心理状態や人間関係、社会環境などが影響することからそれらに適切に対処し、健康を維持・向上する必要があることを理解できる。

6、指導にあたって

(1)教材観

近年、電子タバコの登場など喫煙に関わる情報を目にする機会は少なくない。また、SNSなどの発達によって、中学生でもそれらの情報に触れる事や、誤った情報に騙されてしまう可能性も多い。

タバコの煙に含まれるニコチンやタール、一酸化炭素などの三大有害物質、その他の約60種類以上の発がん性物質によって喫煙者はもちろんのこと、受動喫煙によって非喫煙者にも多大なる悪影響を与えていることが科学的に証明されている。それらの有害物質の作用により、毛細血管の収縮や心臓への負担、運動能力の低下など様々な健康被害に加えて、肺がんや心臓病などの病気にかかりやすくなる。特に未成年の場合、タバコによる健康被害が成人よりも重大で、病気によって死亡する可能性がより一層高くなるだけではなく、依存する傾向がと

ても強いので飲酒と同じように法律で禁止されている。

この教材では、人間の健康は主体と環境がお互いに関わり合って成り立っており、健康を保持増進し疾病を予防するためには、それらの要因に適切に対応する必要があるということを学んでいく。そのように生活と健康に関する内容として喫煙を取り上げ、これらと健康の関係性を正しく理解するところから始めたい。そして正しい知識を身に付けた上で、未成年の喫煙が法律で禁止され、多くの防止対策がされている理由を考え、自らの意思をコントロールできるとともに未成年の喫煙防止のための活動に積極的に参加できるようになることをねらいとしている。また、自らの意思をコントロールすることで友人などから勧められた時に断る勇気の大切さや、自分自身や周りの人の身体を大切にする気持ちを育成したい。

(2) 生徒観

全体的に大人しく、落ち着いたのがある生徒が多い。グループワークなどではしっかりと話し合いが出来ている印象である。近年では分煙化等も進み、非喫煙者も増えてきたのが現状であるため、生徒が喫煙自体に抵抗があるだけでなく、たばこというものに接する機会が減っており、喫煙に関する知識が少ないことから、喫煙に対する危機感は薄いことが予想される。

(3) 指導観

授業の進め方としては、喫煙と健康の関係について正しい知識を身に付けさせることから始める。それに加えて未成年のそのような行為が禁止されている理由についても学習していく。喫煙についてはある程度の知識を備えていることが予想されるが、自他ともに心身に与える悪影響について、より詳しく正しい知識を身に付けられるようにする。また、知識の習得だけで終わるのではなく、どんな理由があっても喫煙は身体にとって良くなく、恐ろしいものであるということを理解させ、習得した知識を生かしてこれから先誘われた時にきっぱりと断ることができる生徒に育てたい。本時では自身が喫煙に関わることの恐ろしさを学び、周囲の人々や社会の影響を受けやすい高校生の時期にも備えて喫煙に対する危機管理能力を養わせたい。

7. 単元の評価規準

知識・理解	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・喫煙が身体に及ぼす影響についての知識を得ることができる。 ・喫煙に関わる意志決定や行動選択の要因を身体的・精神的・社会的な視点から見ることができる。	・喫煙が健康な暮らしに及ぼす影響の知識から、健康に暮らせる社会を維持するためにはどうすれば良いか考えることができる。 ・喫煙に関わる意志決定や行動選択に影響する要因を様々な視点から考えることが	・喫煙と健康の関係について関心を持つことができる。 ・課題解決に向けて、自ら進んで意欲的に学習に参加することができる。

	できる。	
--	------	--

8、指導計画 全 8時間中 4時間目

時間	1	2	3	④	5	6	7	8
0分	◎導入 (挨拶、出欠確認、忘れ物確認、本時の学習内容と目標の確認)							
5分	生活習慣病の起こり方	生活習慣病の予防	がんの予防	喫煙の害と健康	飲酒の害と健康	薬物乱用の害と健康	薬物乱用の社会的な影響	喫煙・飲酒・薬物乱用の要因と適切な対処
40分	◎まとめ (本時のまとめ・振り返り)							
50分								

9、本時の目標

喫煙について正しく理解を深め、喫煙することによって自分や周りの人の身体にどのような影響を与えているのか考える。その上でこれから先、喫煙とどのように付き合っていくのか、自分が誘われた時どうするのかなどに対して自分の意見を持ち、今後に生かすことができる。

10、本時の展開

	学習活動	指導上の留意点	評価の方法
導	◎挨拶・出欠確認・忘れ物確認	・欠席者の確認を行う。 ・教科書、ノートを机の上に用意させる。	
入	◎本時の学習内容と目標の確認	・展開の部分の流れも説明する。	
5分	◎ワークシートの配布	・ワークシートを配布する。	

	<p>◎二人組で一人は喫煙を誘う、もう一人は断るという設定で話し合う。</p> <p>◎グループワークを行う 発問①についてもう一度話し合う。</p> <p>◎発表</p>	<p>・学んだ知識を生かして、具体的な理由を付けながら断るように促す。</p> <p>・授業の内容を踏まえて、最初に投げかけた発問の答えをまとめる。 →予想される答え 「タバコを吸うと自分だけでなく周りにも迷惑をかけてしまうから吸ってはいけない。」 「未成年は喫煙による体への害が成人よりも大きいから法律で禁止されている。」</p> <p>・自分への誘いを断るだけでなく、友達にもやめるよう促すことができるような意見を出させる。</p> <p>・グループでまとめた意見を各グループの代表者に発表させる。</p>	<p>・仲間の意見を聞き入れながら自分の意見を的確に伝えることができるか(観察:思考力・判断力・表現力)</p>
<p>まとめ</p> <p>10分</p>	<p>◎本時のまとめ</p> <p>◎挨拶</p>	<p>・喫煙についての基本的な知識(たばこの煙に含まれる有害物質やそれによる健康被害)を理解し、喫煙の恐ろしさを実感させることで、これから先喫煙をしないように意識づけさせる。</p> <p>・元気よく挨拶する。 ・挨拶の後、ワークシートの提出を指示する。</p>	<p>・しっかりとワークシートを記入したうえで提出できているか(ワークシート:人間性)</p>

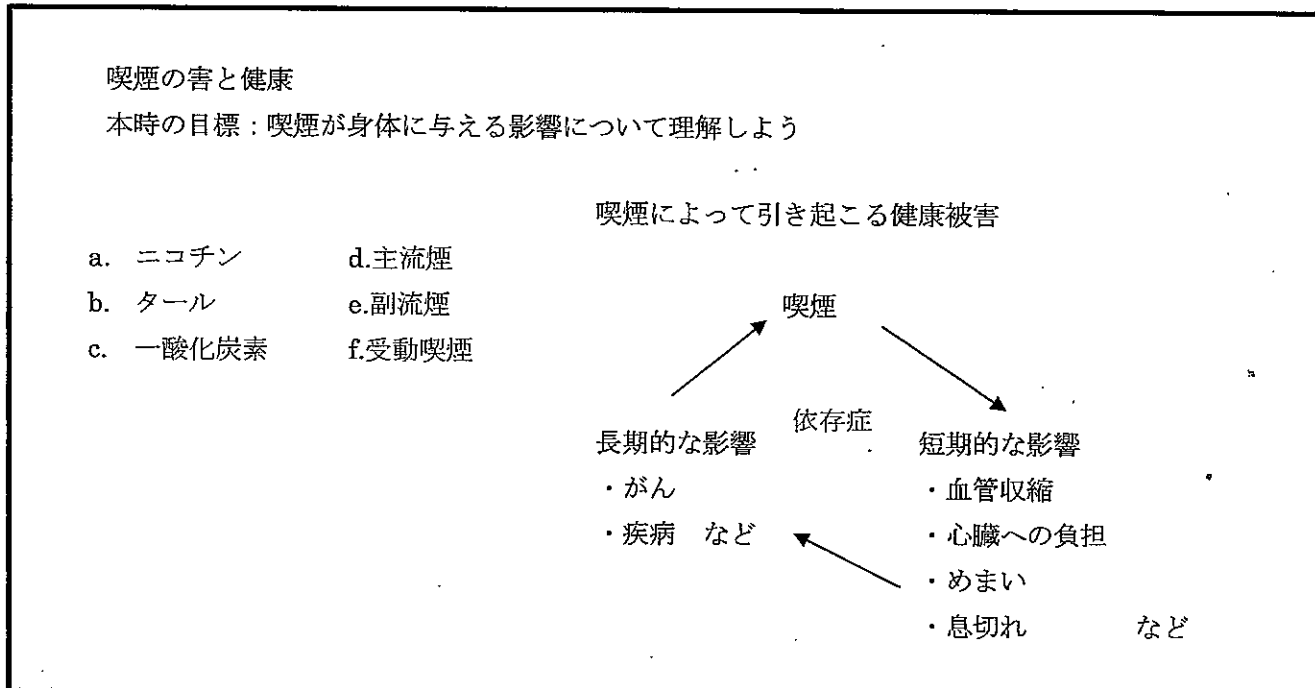
11、本時の評価

A, 「十分満足できる」 状況の評価基準	B, 「概ね満足できる」 状況の評価基準	C, 「努力を要する」状況の 基準とその具体的手立て
A: 喫煙によって及ぼされる害についての知識を活用して、きっぱりと断ることができる。また、友達にも禁煙を促すことができる。	B: 喫煙によって及ぼされる害についての知識を活用して友達の誘いを断ることができる。	C: 喫煙によって及ぼされる害についての知識を活用して友達の誘いを断ることができるようになることが課題である。課題の改善のために、友達からの誘いを断るための意思表示の方法やなぜ断るのかを巡回の中で助言する。

12、本時の準備物

教科書、学習ノート、ワークシート、ホワイトボード(5枚)、PC(PP表示用)

〈板書計画〉



ワークシート

「喫煙と健康について考えよう」

組 番 氏名 _____

1. 友達に「たばこを吸ってみたい？」と誘われました。その時あなたは何と言いますか？

自分の考え	グループで出た意見

2. () の中に適切な言葉を入れよう！

★たばこに含まれる主な有害物質

- (a.) …血管を収縮させる。強い依存性がある。
- (b.) …肺の働きを低下させる。発がん物質を含む。
- (c.) …血液の酸素運搬能力を低下させる。

★たばこから出る煙の種類

- (d.) …喫煙者がたばこから吸い込む煙。
- (e.) …たばこの先から出る煙。

★非喫煙者が d や e などの煙を吸うこと… (f.)

3. 友達になんて言う？(グループでまとまった意見を書こう！)

--

4. 今日の授業で学んだこと

--